

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	広島県	事業実施主体	広島県、三次市、庄原市	地域再生計画名	豊かな農林産物を活かした備北地域まちづくり計画
計画期間	令和４年度～令和８年度	評価責任者	広島県林業課長、広島県道路整備課長、三次市土木課長、庄原市建設課長		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準年度		中間目標値		最終目標値		基準年度		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	目標 1	道の駅等における物産販売額の増加（322百万円／年）	1,365百万円	R 2	1,525百万円	R 6	1,655百万円	1,687百万円	R 8	○	指標総数	達成数	中間目標を達成できた。引き続き最終目標の達成に向けて取り組みを行っていく。		
	目標 2	林業振興及び森林整備の推進（林道利用区域内の間伐面積の増）	45ha	H 2 8 ～ R 2 計	20ha	R 6	20.3ha	50ha	R 8	○	2	2	林道整備やそれに通じる市道整備、林業従事者の育成などの施策の効果により、中間目標を達成できた。引き続き計画に則した整備を行い、目標達成を目指していく。		
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価									
			計画	中間年度（R6）	最終実績見込み										
	特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長：m）		4,402m	1,012m	4,137m	物価高騰による事業費の増額等の理由から、当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、約25%と遅れが伺える。必要に応じ、計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。								
		林道整備事業（整備延長：m）		5,500m	1,214m	3,536m	林道整備の完了区間では、これまで森林施業が困難であった地域へのアクセスが改善された。路線の整備状況については、物価高騰による事業費の増額に加え、軟弱地盤や脆弱な法面が存在し、その対策による事業進捗の遅れから完成延長が伸びず、進捗率は約22%と遅れが伺える。計画期間の延長も視野に入れ、引き続き、計画に則した整備を目指していく。								
	その他の事業	生活交通確保対策事業		地方バス路線の運行の確保			県事業主体の本事業の実施により、過疎化・高齢化が進んでいる集落間の交通手段が確保された。								
		森林整備事業		下刈り間伐の推進			国事業の活用による路網整備・間伐等を推進し、木材の安定供給が確保された。								
		森林整備地域活動支援交付金		森林経営計画の作成や森林施業の集約化に必要な活動に対して支援			国事業の活用により、森林施業の推進に必要な森林情報の収集および境界確認等の諸活動に対する支援を行い、木材の安定供給に寄与した。								
		庄原市地域木材住宅建築普及推奨金		市内で生産された地域木材の利用を推進することを目的			地域木材の普及を支援することで、木材需要の創出に寄与した。								
道の駅等を活用した観光振興		各道の駅でのイベント等開催			「どんぶり1グランプリ」の開催や周年イベント等、出荷者販売会を定期的に開催し、観光振興が図れた。										
計画外で独自に実施した事業															
③評価方法	地域再生会議を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。														
④中間評価の公表方法	広島県林業課のホームページへ掲載														
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に行い、国県道、市道、林道からなる効率的な道路ネットワークを構築することで、農林産物の輸送体系向上による農林業の更なる振興及び生活環境の向上や、集落間交通の確保による集落の維持、森林整備事業等による森林整備の推進を図り、活力ある町づくりを行うことを目的としている。 現時点で最終目標値を達成できる見込みだが、市道整備事業及び林道整備事業の進捗が全体的に遅れており、数値目標への影響も考えられることから、事業進捗を上げる取り組みや計画の見直しが必要である。														
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容									
	地域再生計画の見直し（有・無）					計画上の道路整備を行うことで、地域間のネットワークが強化され、目標は概ね達成される見込みであるが、事業進捗状況が遅れている。このため、中間評価の結果を踏まえ、計画変更や事業期間を2年延伸する。									
	令和8年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円														
⑦今後の方針等に対する対応	●事業期間延長計画の変更の認定申請を予定 ・計画終了年度 令和8年度→見直し後 令和10年度 [2年増] ●整備事業量、事業費の見直し ・整備事業量 認定時9,902m→見直し後7,673m [2,229m減] ・総事業費 認定時3,775,700千円→見直し後5,588,214千円 [1,812,514千円増（うち中間評価結果を反映した増加額1,812,514千円（うち交付金906,256千円）増）] ○内訳 ・市道整備事業量 認定時4,402m→見直し後4,137m [265m減] ・市道総事業費 認定時2,153,200千円→見直し後3,296,353千円 [1,143,153千円増（うち中間評価結果を反映した増加額1,143,153千円（うち交付金571,576千円）増）] ・林道整備事業量 認定時5,500m→見直し後3,536m [1,964m減] ・林道総事業費 認定時1,622,500千円→見直し後2,291,861千円 [669,361千円増（うち中間評価結果を反映した増加額669,361千円（うち交付金334,680千円）増）]														